

第22回 教科「理科」関連学会協議会（CSERS）シンポジウム

教科「理科」関連学会協議会（CSERS）は、日本物理教育学会・日本化学会・日本生物教育学会・日本地学教育学会・日本理科教育学会・日本科学教育学会の6学会が連携し、理科教育に関する課題について協議し、その振興に資することを目的としています。

毎年、シンポジウムを開催していますが、2017年は下記のように実施いたします。

記

1 テーマ：理科で身に付ける力とは～次期学習指導要領を見据えて

- 2 趣旨：小学校・中学校の次期学習指導要領が2017年3月に告示され、高等学校の学習指導要領も今年度末には告示される予定です。今回の改訂では「主体的・対話的で深い学び」を通して全教科・全校種にわたり「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力・人間性の涵養」の3本柱を育てようとしています。では、理科という教科で、小中高等学校を通してどんな力を育てるのか、新学習指導要領の内容を見据え、ともに考えていきたいと思えます。

（事前申込は必要ありません。資料代として、¥500を集めさせていただきます。）

3 日時 2017年5月13日(土) 13:30～17:00 (13:00～受付)

4 会場 化学会館(7階ホール) 東京都千代田区神田駿河台1-5 (「御茶ノ水」駅 御茶ノ水橋口 徒歩3分)

5 プログラム

- (1) 趣旨説明 13:30～13:40

CSERS 議長 都築 功(都教職員研修センター)

- (2) 基調講演：鳴川 哲也氏(文部科学省初等中等教育局教科調査官) 13:40～14:20
「次期学習指導要領について」

<休憩 14:20～14:30>

- (3) 講演Ⅰ：松原 憲治氏(国立教育政策研究所教育課程研究センター総括研究官) 14:30～15:00
「諸外国の科学カリキュラムと日本の理科における資質・能力」

- (4) 講演Ⅱ：野村 広介氏(東京都立国際高等学校) 15:00～15:30
「国際バカロレアにおける理科(自然科学)と知の理論(TOK)の関わりについて」

- (5) 講演Ⅲ：奥津 憲人(文化学園大学杉並中学高等学校) 15:30～16:00
「中学校理科の現状と次期学習指導要領に期待すること」

<休憩 16:00～16:20 ※休憩時間に質問用紙を回収させていただきます。>

- (6) 総合討論 16:20～17:00



※なお、終了後、情報交換会を行います。参加費1,000円です。当日受付でお申し込みください。
問い合わせ先：日本生物教育学会 都築 功 (goodbye.tamakou●gmail.com) (●を@に)